

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 4 月 13 日 (2017.4.13)

【公開番号】特開 2015-181807 (P2015-181807A)
 【公開日】平成 27 年 10 月 22 日 (2015.10.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-065
 【出願番号】特願 2014-62402 (P2014-62402)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

F 2 1 S 2/00 4 3 9

F 2 1 S 2/00 4 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

任意の画像を表示可能な画像表示手段と、

発光表示手段と、

駆動手段の駆動により動作する可動体とを備え、

前記発光表示手段は、前記画像表示手段の前側に位置する導光板と、前記導光板の端縁側に配置された一又は複数の発光素子とを備え且つ前記発光素子から前記導光板に入射した光を前記導光板の一面側に反射可能な

遊技機において、

前記駆動手段を前記導光板の外縁よりも外側に配置し、

前記可動体は前記導光板の後側を移動可能であり、

第 1 のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段を用いた報知は行わない一方、

第 2 のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段を用いた報知を行うように構成した

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、任意の画像を表示可能な画像表示手段 4 1 と、発光表示手段 4 4 と、駆動手段 1 4 3 の駆動により動作する可動体 1 4 1 とを備え、前記発光表示手段 4 4 は、前記画像表示手段 4 1 の前側に位置する導光板 1 1 1 と、前記導光板 1 1 1 の端縁側に配置された一又は複数の発光素子 1 4 5 とを備え且つ前記発光素子 1 4 5 から前記導光板 1 1 1 に入射した光を前記導光板 1 1 1 の一面側に反射可能な遊技機において、前記駆動手段 1 4 3 を前記導光板 1 1 1 の外縁よりも外側に配置し、前記可動体 1 4 1 は前記導光板 1 1 1

の後側を移動可能であり、第１のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段４４を用いた報知は行わない一方、第２のエラーが発生した場合には、前記発光表示手段４４を用いた報知を行うように構成したものである。

また、導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 と、前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 の端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a に対向する一又は複数の発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 と、前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 に設けられ且つ前記端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a から入射した前記発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 からの光を前記導光板 7 1 , 1 1 1 , 1 1 2 , 1 6 1 の一面側に反射する複数の反射部 7 4 と、前記発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 と前記端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a との間に配置され且つ前記発光素子 7 2 , 7 3 , 1 3 2 ~ 1 3 5 , 1 4 5 , 1 4 6 , 1 6 5 からの光を集光する集光レンズ 8 2 , 8 3 , 1 3 6 ~ 1 3 9 , 1 5 2 , 1 5 3 とを備えた遊技機において、前記端面 7 1 a , 7 1 b , 1 1 1 a , 1 1 1 b , 1 1 2 a , 1 1 2 b , 1 6 1 a の長手方向における連続する範囲であって前記反射部 7 4 の配置位置を全て含む最小範囲である連続最小範囲 8 6 , 8 7 に対応して前記集光レンズ 8 2 , 8 3 , 1 3 6 ~ 1 3 9 , 1 5 2 , 1 5 3 を配置してもよい。